

令和3年度 第4回企画展示 資料解説講座

川田谷古墳群と栗原司氏の足跡



原1～9号分布地帯
原(巻)3号地帯



107
子
1-9号
5p.4

台地上、左の森が1号、右方先端部の隆起が4号、そのや
ゝ左が5号。西南即ち荒川沿岸よりのむ。



令和4年3月27日(日)
川田谷生涯学習センター
視聴覚ホール

川田谷古墳群

元号	西暦	事柄
文政 明治	7	182415年間を費し『新編武藏國風土記稿』なる。各地の古墳関係記事も多く登載されている。
	21	1888坪井正五郎が東京地学協会で「古墳及び塚穴」を講演、字八幡原出土の人物埴輪を紹介し、当時の風俗について述べる。
	29	1896北足立郡川田谷村若宮地内(桶川市)で地元民が、古墳3基を発掘した。
大正 昭和		八木榮三郎が、佐藤傳藏と共に川田谷村(桶川市)で埴輪を調査した。
	36	1903和田千吉が、川田谷村(桶川市)の埴輪を調査し、樋詰の「お面様」人物埴輪3体を雑誌『考古界』に紹介した。
	10	1921埼玉県「古墳調」で北足立郡長から、川田谷村(桶川市)字八幡原、字柏原・若宮所在の「瓢形」古墳(前方後円墳)2基の所在を報告している。このうち字柏原・若宮所在の古墳は「ひさご塚古墳」である。
	3	1928川田谷熊野神社古墳(桶川市)の粘土槨から勾玉・管玉・巴形石製品・筒型石製品・石釧・筒形銅器を発見。
	4	1929森本六爾が「巴形銅器考」を著し、川田谷熊野神社古墳(桶川市)の巴形石製品を紹介。
	9	1934大場磐雄が、熊野神社古墳(桶川市)出土品を縣史編纂事務局で実査した。
	10	1935川田谷村2380番地(桶川市)で地元民が竹林を開墾中石室を発掘、鉄刀などを発見する。
	13	1938後藤守一が、熊野神社古墳(桶川市)出土の石製品などを雑誌『古代文化』に紹介し、論述する。
	28	1953熊野神社古墳(桶川市)の出土品一括が、11月14日付けで重要文化財に指定された。
		栗原司氏、川田谷古墳群の踏査開始。
	29	1954熊野神社古墳(桶川市)の墳頂に、「國寶 出土品之碑」が建立された。
	30	1955埼玉県教育委員会は、この年から五か年計画で県下の古墳調査を実施する。
	31	1956村井嘉雄が、熊野神社古墳(桶川市)出土品について論考を『考古學雜誌』に発表。
	35	1960栗原司氏『川田谷古墳群の現状』を著す。
	36	1961埼玉県教育委員会による「北足立郡・市古墳調査」が実施された。
平成	42	1967桶川町教育委員会によって川田谷古墳群(桶川市)の分布調査が行われ、西台・原山・柏原・樋詰の四支群で構成されていることが確認された。
		桶川町教育委員会による柏原支群ひさご塚古墳(前方後円墳)の発掘調査が行われ、凝灰岩を用いた無袖型横穴式石室から馬具類、周溝から形象埴輪などが発掘された。
		熊野神社古墳の墳丘および周溝が、3月26日付けで埼玉県指定史跡に指定された。
	43	1968桶川町教育委員会による西台遺跡の発掘調査で、川田谷古墳群西台支群の円墳5基(西台7～11号古墳)を調査、須恵器、金銅装大刀などが発掘された。
	44	1969桶川町教育委員会による川田谷古墳群柏原支群城髪山1・2号古墳の発掘調査が行われ、横穴式石室から金銅製空玉などを発掘した。
		桶川町教育委員会による川田谷古墳群原山支群原山第23号古墳(金比羅塚古墳)の発掘調査が行われ、横穴式石室から大刀などを発掘した。
		桶川町教育委員会による川田谷古墳群西台支群西台2号古墳の発掘調査が行われ、墳丘から須恵器平瓶が出土した。
	46	1971川田谷古墳群原山支群が、4月26日付けで桶川市指定史跡に指定された。
	59	1984熊野神社古墳の墳丘および周溝の確認調査が行われ、墳丘から五領Ⅱ式の土師器を発掘、築造年代が四世紀後半と確認された。
	62	1987川田谷古墳群樋詰支群の宮前遺跡(桶川市)の調査で古墳跡1基(樋詰7号古墳)が確認された。
	元年	1989埼玉県教育委員会は、この年から五か年計画で県下の古墳所在確認のための実態調査および関連資料調査「古墳詳細分布調査」を実施する。
	4	1992川田谷古墳群柏原支群で、柏原四号古墳跡を発掘した。
		埼玉県教育委員会による「北足立・大里郡市(27市町村)古墳詳細分布調査」が実施され、北足立郡市の古墳は、古墳跡や横穴墓を含めて283が確認された。
	5	1993埼玉県教育委員会による「古墳詳細分布調査」の補足調査が全県にわたり実施された。調査報告書が平成6年3月に刊行され、発掘調査で発見された古墳跡を含み、県内の古墳総数4696基と公表された。
		桶川市教育委員会による前原遺跡(原山28号墳)が行われる。
	7	1995川田谷古墳群原山支群の全体測量が行われ、平成9年(1997)3月に、個々の古墳の規模および、築造年代を明確に把握するため、トレンチによる範囲確認調査が行われている。
	11	1999氷川神社裏古墳の規模および年代を明確に把握するため範囲確認調査が行われた。
	24	2012(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団による樋詰6号墳の発掘調査。

川田谷古墳群



桶川町文化財調査報告 I

— 川田谷の遺跡と遺物 —

埼玉県北足立郡桶川町教育委員会

昭和 42 年

川田谷古墳群



川田谷古墳群

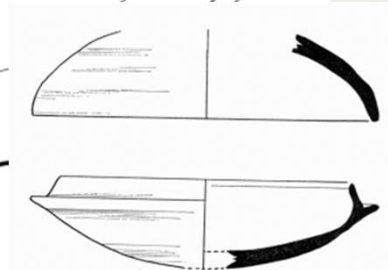
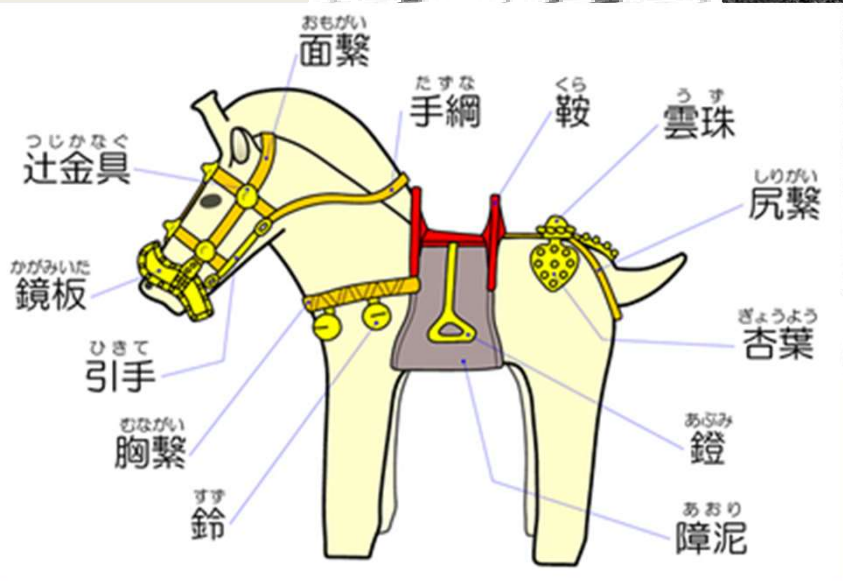
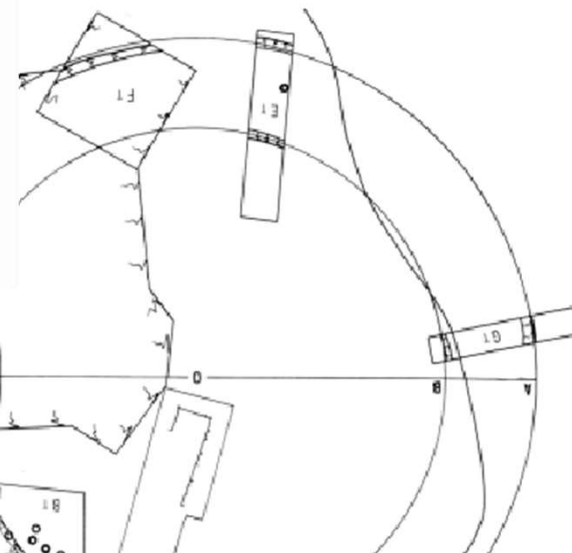
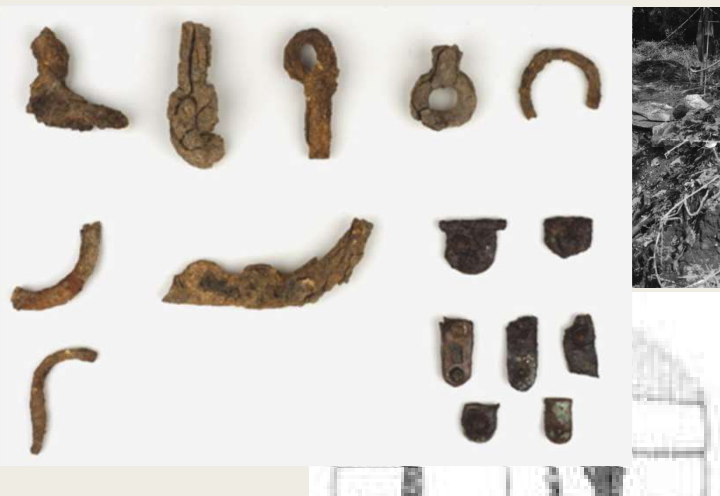
原山古墳群（桶川市指定文化財 史跡）



指 定 : 昭和46年 (1971) 4月26日
追加指定 : 平成元年 (1989) 4月19日
規模 : 9,056m²

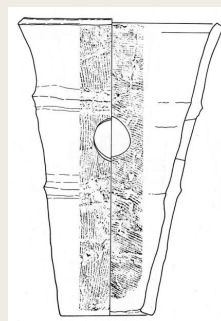
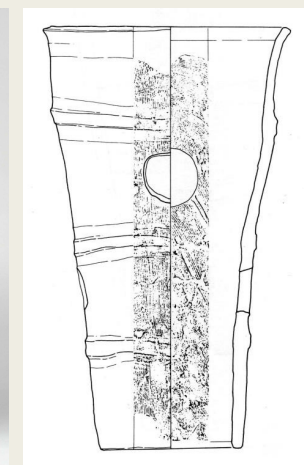
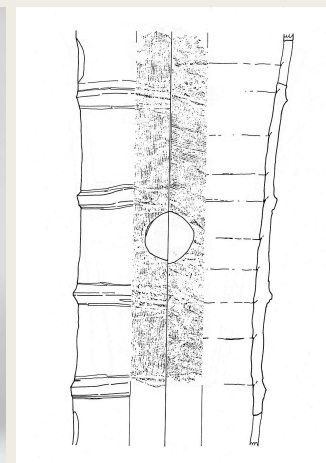
川田谷古墳群

ひさご塚古墳（発掘された前方後円墳）



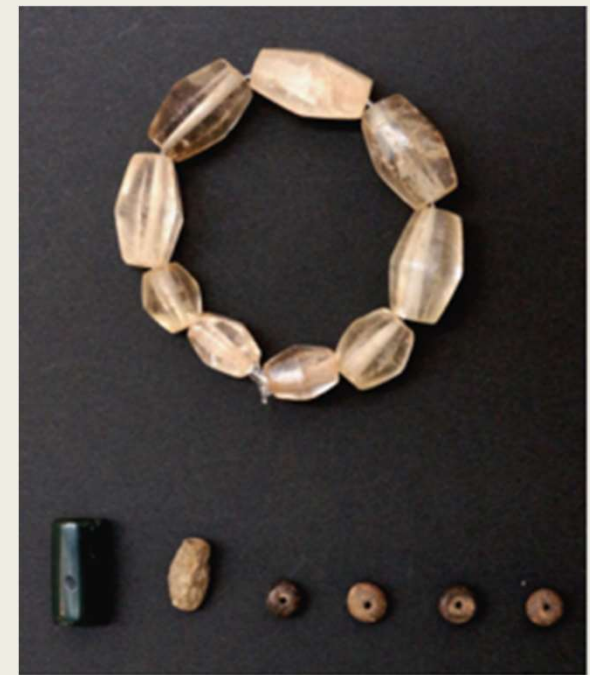
全長 41m
 後円部直径 27m
 前方部長さ 16.7m 前方部幅 20m
 石室全長 5m

川田谷古墳群 若宮Ⅱ遺跡 (柏原4号墳 埴輪を出土した古墳跡)

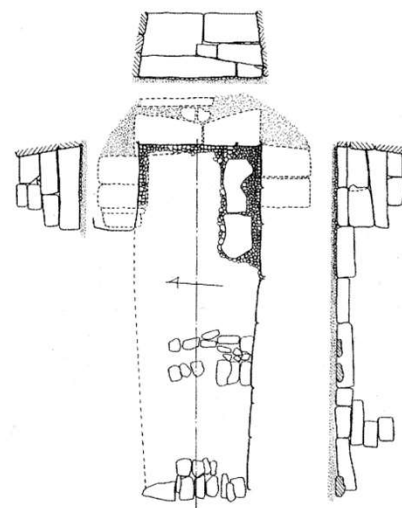


川田谷古墳群

城髪山2号墳（川田谷古墳群の終末）

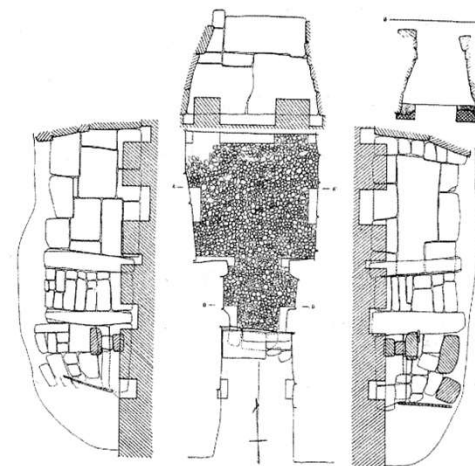


横穴式石室と須恵器

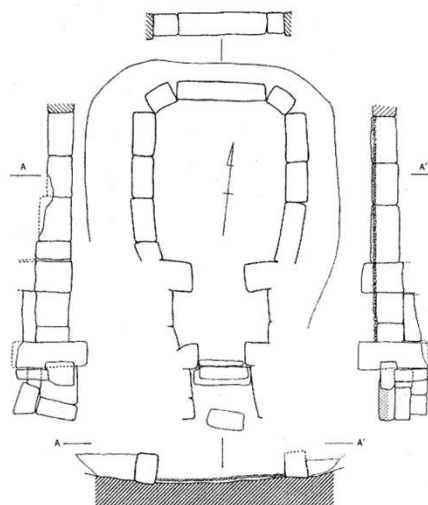


1 川田谷ひさご塚古墳

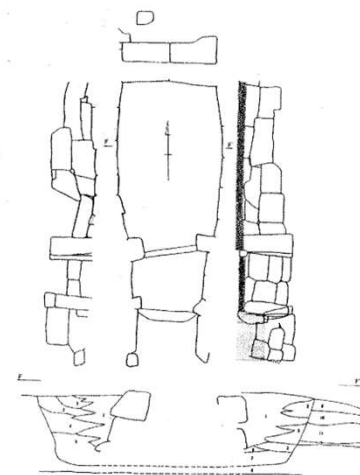
0 (1:100) 5m



2 西台第7号古墳



3 城髪山第1号古墳



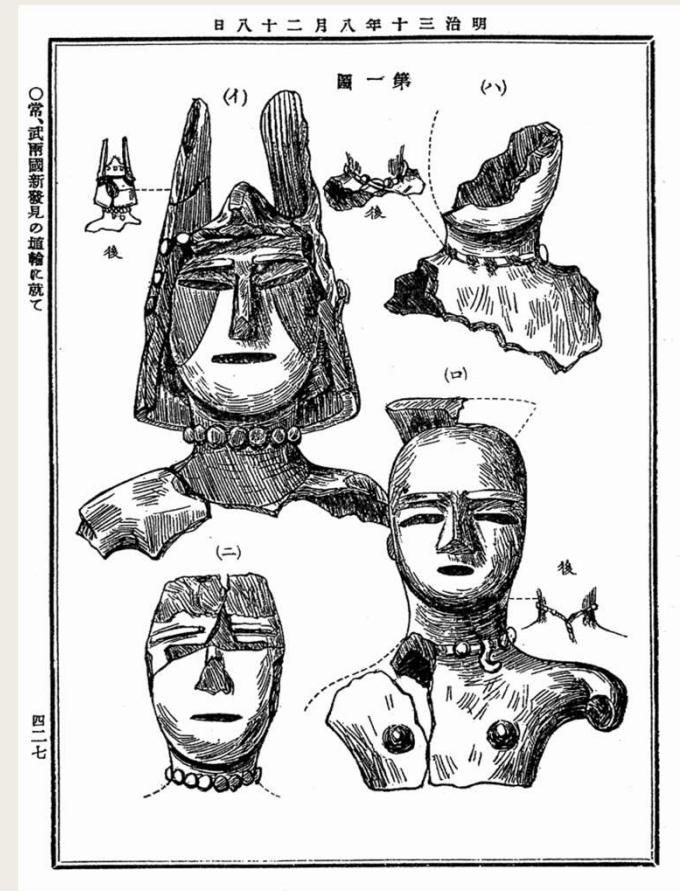
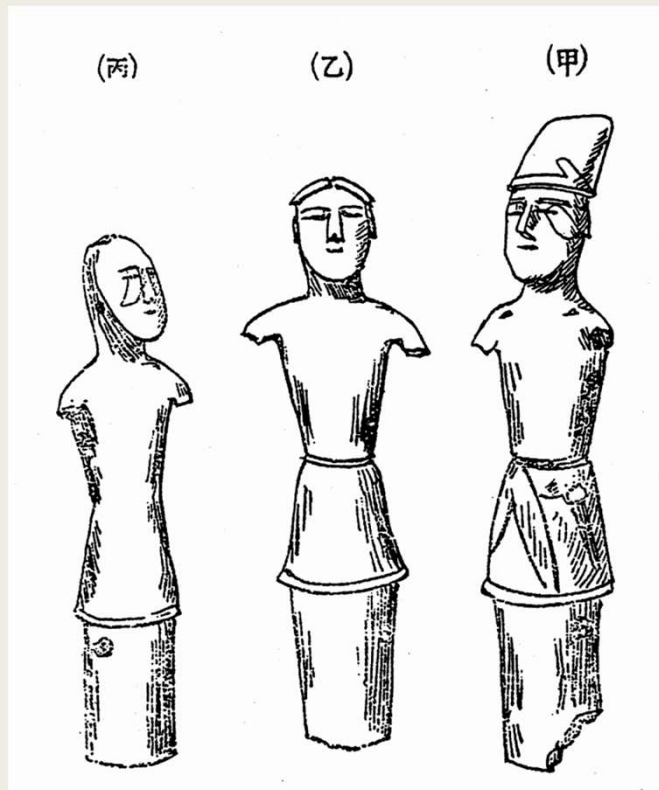
4 城髪山第2号古墳



平瓶(西台2号古墳出土)

川田谷古墳群の埴輪

『東京人類学雑誌』 (1897) より

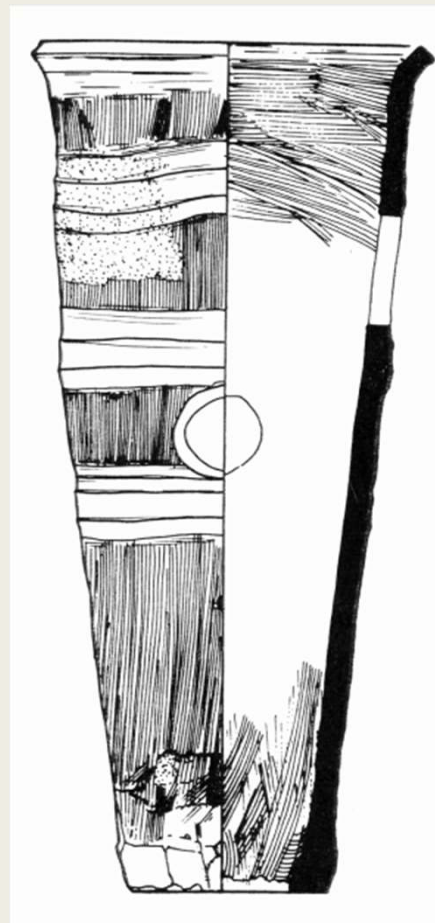
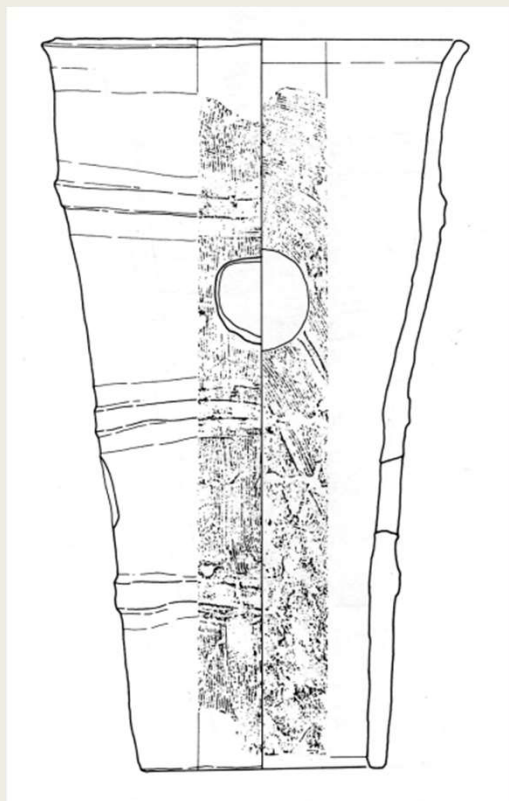


○常、武南國新發見の埴輪に就て

円筒埴輪



若宮Ⅱ遺跡（柏原4号墳）



ひさご塚古墳



形象埴輪



ひさご塚古墳出土
人物埴輪(男・女)



冠帽をかぶる男



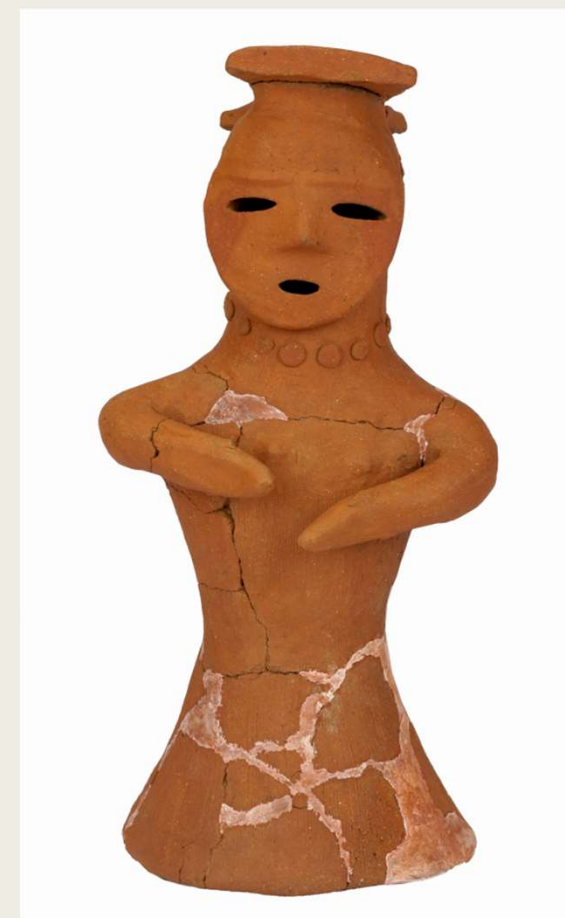
頭巾をかぶる男(馬丁)



馬形埴輪



男子(胸部)



髻を結った女(巫女)

栗原 司 氏 採集埴輪

川田谷古墳群研究の先覚者 栗原 司 氏の業績

〈履歴〉

昭和2年（1927）8月1日、平和幼稚園創立者栗原信・文子夫妻の次男として桶川町に生まれる。

旧制浦和中中学校を経て、折口信夫先生に憧れ入学した國學院大學文学部国文学科を首席で卒業、答辞を読む。

大学で研究を続けるか悩んだ末、大宮南中学校にて教職に就く。その後、県立本庄高等学校、蕨高等学校、大宮高等学校で国語科を教える。

教職の傍ら、川田谷古墳群の資料をまとめるとともに、国文学を研究する。

昭和45～47年まで、桶川市文化財専門調査委員を受嘱。

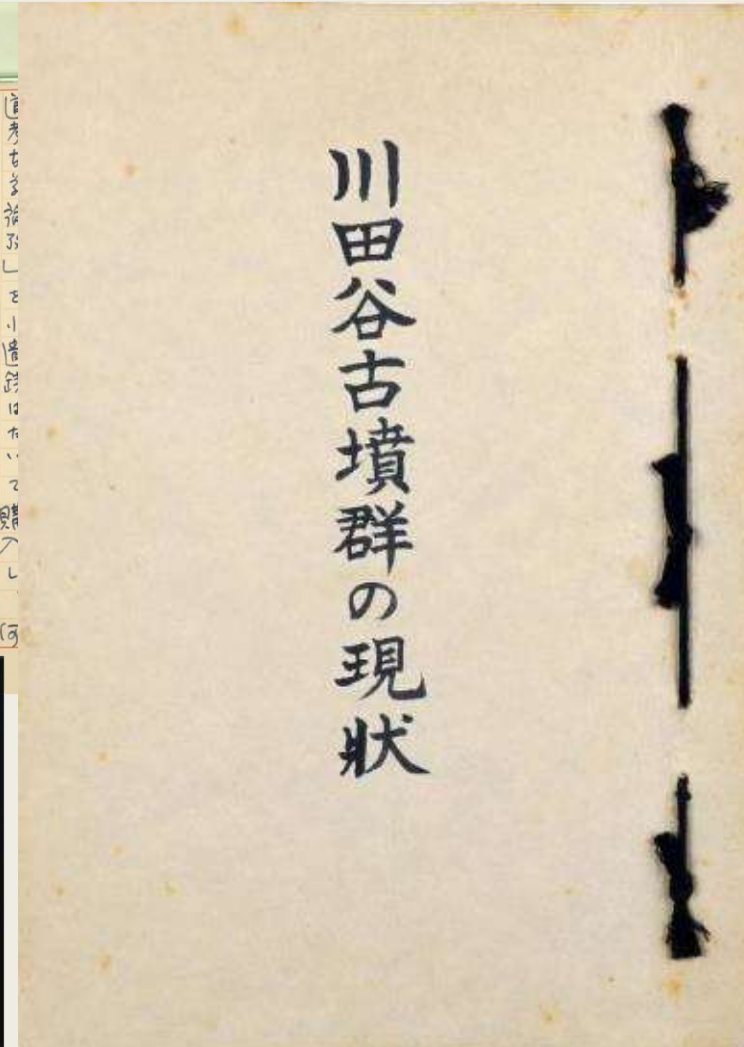
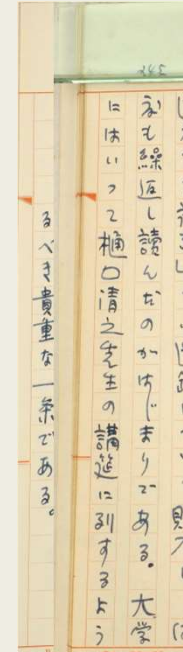
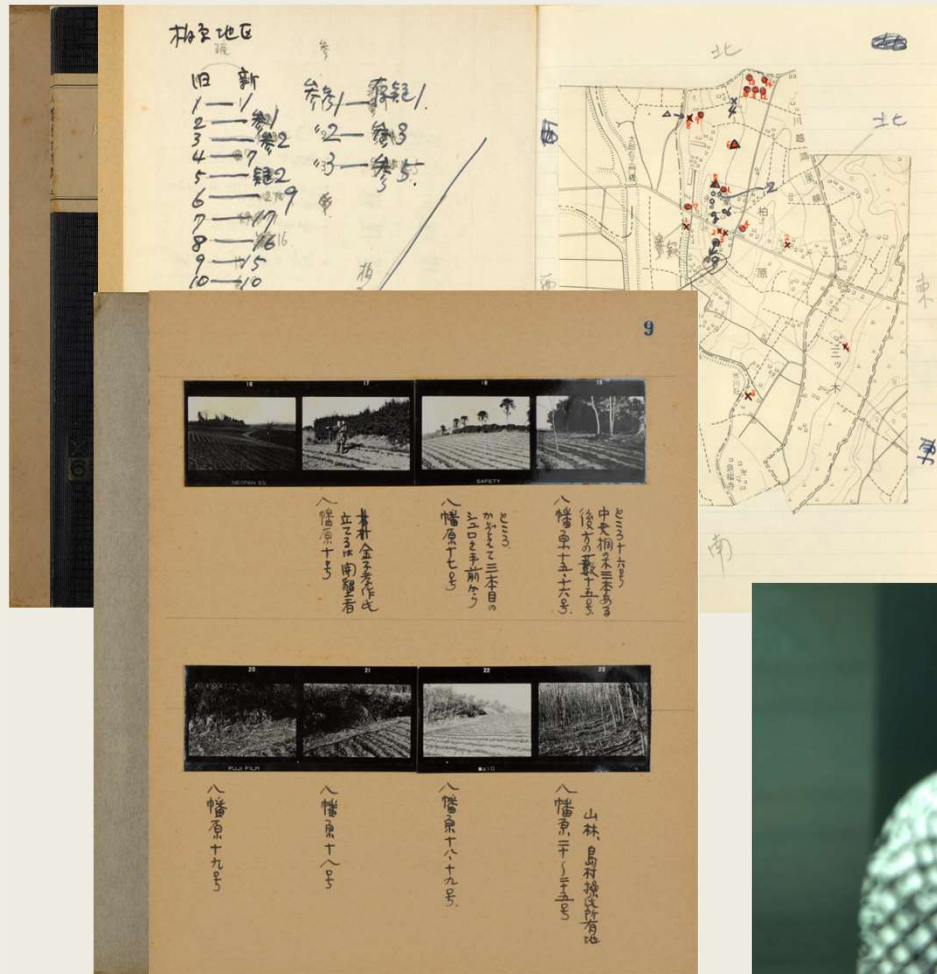
平成29年（2017）4月7日、永眠。

川田谷古墳群の現状

図録篇

下
甲

川田谷古墳群研究の先覚者 栗原 司 氏の業績



川田谷古墳群研究の先覚者 栗原 司 氏の業績

	品目	土器 (土~9)	段階	C	数量	1
	品名	貼葉痕底の甕				
	所出	文宮市北袋 見沼 添地 出土				
	時代	縄文時代				
	内容・形態・特徴					
	伝承	復元 栗原 司 (1) 生復元 (1号)				
	保管	第21室				
備考・補記 見沼田圃に臨む台地から出土。採集した文宮庫中の生徒の昭和26年頃もの。復元した。私の復元した土器1号である。 なお、同時同所から深鉢土器の破片も出土。これももうけたが、下半部が全く欠落していた。そこで各校図録と参照して復元したが、昭和54年の8月、佐賀県に旅行に尖石の出土品を多数見るを得、復元に手直しを行った。この土器は別に保管する。						
再神記						



柏原支群

古墳名	調査年	文献	備考
ひさご塚古墳	昭和 42 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅱ―川田谷ひさご塚古墳―』	柏原 1 号墳
城髪山 1 号墳	昭和 44 年 (1969)	『川田谷古墳群』	柏原 11 号墳
城髪山 2 号墳	昭和 44 年 (1969)	『川田谷古墳群』	柏原 12 号墳
柏原 4 号墳	平成 4 年 (1992)	『平成 4 年度桶川市内遺跡発掘調査報告書』	

原山支群

古墳名	調査年	文献	備考
原山 23 号墳	昭和 45 年 (1970)	『川田谷古墳群』	
原山 28 号墳	平成 6 年 (1994)	『平成 6 年度桶川市内遺跡発掘調査報告書』	

西台支群

古墳名	調査年	文献	備考
西台遺跡第 1 号墳	昭和 43 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅳ 西台遺跡の発掘調査』	西台 8 号墳
西台遺跡第 2 号墳	昭和 43 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅳ 西台遺跡の発掘調査』	西台 7 号墳
西台遺跡第 3 号墳	昭和 43 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅳ 西台遺跡の発掘調査』	西台 9 号墳
西台遺跡第 4 号墳	昭和 43 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅳ 西台遺跡の発掘調査』	西台 10 号墳
西台遺跡第 5 号墳	昭和 43 年 (1967)	『桶川町文化財調査報告Ⅳ 西台遺跡の発掘調査』	西台 11 号墳
西台第 2 号古墳	昭和 45 年 (1970)	『川田谷古墳群』	

樋詰支群

古墳群	調査年	文献	備考
樋詰 7 号墳	平成 2 年 (1990)	『宮前遺跡』	